

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

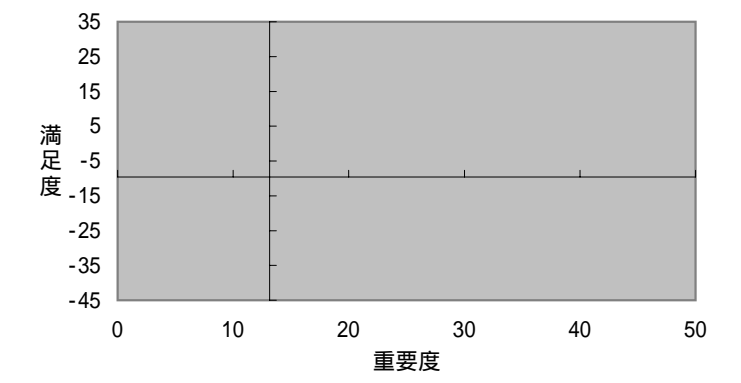
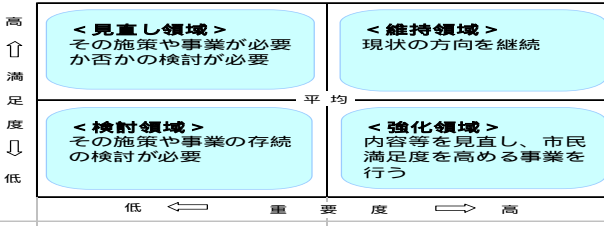
施策名 (小項目)	結核・じん肺	コード	作成者	役職	保健課長
		02-02-05	氏名	末長章彦	
			電話	64-1819	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が結核に感染することを防ぐとともに、地域に多いじん肺患者の健康維持を図る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	結核登録者は減少傾向にあるが、新規発生者の多くは高齢者である。抵抗力の弱い乳幼児、高齢者への対策が重要となっている。 じん肺認定患者は合併症として肺がんが認められ、わずかに増加している。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 検診などの実施 健康教育の推進 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			



調査結果に対するコメント、市民の反応等	結核はまだ油断のできない感染症であるため、検診率の向上に努力する。じん肺認定患者については肺機能低下に留意し、健康相談に応じていく必要がある。
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明	
		H17	H18	H23	H28			
1 結核健診受診率	目標	%	54.0	54.0		60	65	受診者数/対象者数
	実績	%	53.2	58.0				
	達成率	%	98.5	107.4				
2 健康増進教室参加率	目標	%	29.0	27.0		35	40	参加人数/見舞金支給人数
	実績	%	26.8	18.6				
	達成率	%	92.4	68.9				
3	目標	%						
	実績	%						
	達成率	%						
4	目標	%						
	実績	%						
	達成率	%						

施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業名	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
				H17		H18		H19		
				直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	
1 結核予防事業	B	結核予防事業	法定事務	5,410	4,087	4,697	3,465			
2 じん肺患者見舞金事業	C	じん肺患者見舞金事業	ソフト事業	10,697	2,415	10,914	2,275			
3 感染症予防事業	C	感染症予防事業	法定事務	3		0	0			
		狂犬病予防事業	法定事務	360	5,131	287	4,650			

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	28,103	26,288	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	結核の早期発見手段である割に検診率が低い	3	健康相談事業への参加者が少ない。
2 事業構成の適当性	3	じん肺見舞金は労災補償と明確な差異がなくなってきた。じん肺患者の健康増進につながる施策に変換していく必要がある	3	予防対策を重点にした事業が必要であることから見直しが必要である。
3 施策の有効性	3	結核感染防止のため必要な事業である	3	健康診断、健康相談事業を重点とした施策は有効である。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		結核の検診率向上に努めなければならない。		じん肺は、高齢になるにつれ発病率が高い。また、他の病気から引き起こす事例が見られることから、自己管理に努めるとともに健康相談・健康診断等定期的に受診することへの指導、啓発を行う必要がある。
二次評価者コメント		早期発見、早期治療を目的にした検診の充実を図るとともに、さらに健康教育等の推進を強化していく必要がある。平成20年度予算の方向性としては、じん肺患者見舞金等今後見直しをする方向で検討することとして前年度並みの配分とする。		平成20年度 予算の方向性 前年度並みの配分